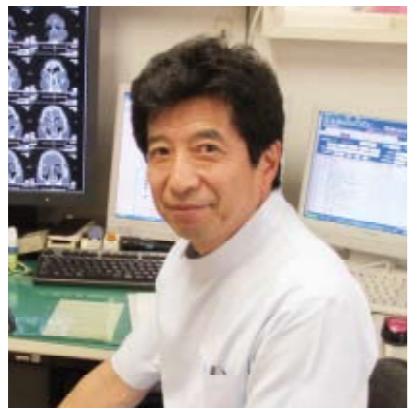


連携医院のご紹介



藤井循環器内科医院

〒734-0004
広島市南区宇品神田2丁目14-24
院長／藤井 隆典
診療科／内科、呼吸器科
消化器科、循環器科

○開業のきっかけは?

私は循環器が専門で、以前は県病院に勤めていました。そのころ、徹夜で手術して必死で治療して退院された方が、2年後に大腸がんで亡くなるという経験をしました。がんで亡くなる方が一番多いわけですから、循環器だけではなくて、ほかの部位も含めたがんの早期発見が必要だと強く感じました。

ほかにも、もっと早い段階で疾患を見つけて、患者さんを県病院に送ることができればなあと思うことがあって、「外(地域)に出て患者さんを診よう。」と思い、開業しました。

○診療の際に、大切にされていることは、何ですか?

患者さんの訴えに真剣に耳を

傾けることです。そうすると、いろんなことを患者さんから教えていただけます。いろいろと教えていただく中で、診療の幅が広がるとマンネリ化せずに、楽しく仕事ができますよ。

○県病院にひと言

電子カルテになってから、県病院を訪問したときに、開放病床に入っている私の紹介患者さんのカルテが簡単に見られなくなったことが残念。もっと病院間のやりとりがスムーズになるとよいですね。

【取材後記】

患者さんの疾患を、早く見つけて治療したいという、穏やかだけど強い思いが印象的でした。それと、先生、実年齢より若いですね！。

外来診療のご案内

■診療受付時間
午前8時30分～午前11時00分
※午後の診察は科によって異なります。

■休診日
土曜日・日曜日・祝祭日
年末年始(12月29日～1月3日)

■紹介状持参のお願い
初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,620円のお支払が必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなることがありますので、ご了承ください。

ご案内

7月のがんサロン

- と き／7月20日(水)
14:00から15:30まで
- と こ ろ／新東棟2階 ラウンジ
- 内 容／県立広島病院がんサロン
(交流会(アロマセラピー))
- 対 象／当院に悪性腫瘍(がん)で通院または入院治療中の患者様およびご家族
- 問い合わせ先／県立広島病院 地域連携科
TEL: 082-256-3562(直通)

平成23年度 緩和ケアボランティア講座

- と き／8月22日(月)・23日(火)
9:00から16:00まで
(受付は両日とも8:45から)
- と こ ろ／新東棟2階 総合研修室
- 対 象／・2日間受講できる方
 - ・緩和ケア支援センターで活動できる方
- 問い合わせ先／広島県緩和ケア支援センター
緩和ケア支援室
TEL: 082-252-6262(直通)

県立広島病院広報誌

もみじ



県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号
TEL(082)254-1818(代) FAX(082)253-8274
ホームページ <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>

第29号
2011.7.1
発行

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします



豊かな大地に植えつけられた、じゃがいもの種いもたちは、競って芽を出し、葉を繁らせて、今、たくさんの花を咲かせています。

私たちも、自然のエネルギーをもらつて、暑さに備えましょう。

副院長兼看護部長
藤川 由美子

ワンポイント健康メモ① — 老化を防ぐ食事 —

「人間は血管とともに老いる」近代内科学の祖といわれるウイリアム・オスラー医師の言葉です。血管の老化を防ぐには、高血糖や高血圧、中性脂肪等が高め…など、血管にダメージを与える生活習慣病を予防することが効果的といわれています。

また、人間の身体は約60兆個の細胞からできていますが、細胞は活性酸素とよばれる物質により鉄が錆びつくように老化します。錆びの掃除係として『抗酸化物質』をとりいれることも老化防止に効果があるようです。

○老化を防ぐ食事 その1 …生活習慣病を防ぎ、血管を守る!

生活習慣病を防ぐには、肥満を防ぎバランスよく食べることです。肥満を防ぐためにはまず標準体重【身長(m) × 身長(m) × 22 から算出】

を目標としましょう。食事は体格や活動量にもよりますが、1食につき『主食(ご飯 お茶碗1杯程度)』・『主菜(肉・魚・卵・大豆製品 手のひら大程度)』・『副菜(野菜 小鉢2品程度)』を目安にするとバランスよく適量食べることができます。

○老化を防ぐ食事 その2

…抗酸化物質は活性酸素の掃除係!

抗酸化物質の仲間はポリフェノールやカテキン、リコ펜などです。抗酸化物質の種類は非常に多く、主に野菜や果物に多く含まれています。現代人の食事はどうしても肉や魚、卵や大豆製品が多く、抗酸化物質が豊富な野菜が不足しがちです。野菜をしっかりとるには、1食につき生野菜で両手1杯(あるいは茹野菜で片手1杯)程度を1日3回食べる必要があります。

みなさん、バランスよく食べて若返りましょう!
栄養管理科 管理栄養士 天野純子

診療科だより

第9回

福原主任部長に直撃インタビュー!!

はじめに、「新生児科」について教えてください。

新生児科は平成7年に小児科から独立して開設されました。生まれたばかりの赤ちゃんをNICU(新生児集中治療室)で治療しています。平成21年3月には改築によって広さがこれまでの2倍となり、安らぎの空間ができました。新生児科医師やNICU看護師だけでなく、小児外科、眼科、耳鼻科、小児感覚器科など多方面の診療科や臨床工学技師、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床心理士など、モチベーションを高くもった前向きなチームで赤ちゃんたちを育てています。



福原主任部長

郷里の広島に帰り、新生児科をアカデミックに導いています。研修医時代から計3回目の赴任になった木原先生は、フットワーク軽く仕事熱心で後輩から頼られています。4月から広大に入局した古川先生は、県外複数のNICUで働いており、新しい風と活気を吹き込んでくれています。後期研修医の今田先生、浦山先生は厳しい指導にも食いついてくれています。現在安芸津病院小児科に出張中の西先生は、7月から新生児科に戻ってきます。

ところで、福原先生の趣味は何ですか？

出産前までは、エアロビクスにはまっていました。当時は体も柔らかかったのですが、今は全く…。Wii-fitを購入し、松嶋菜々子のようにヨガをしようと思っていたが、3日坊主状態です。いつかまた…。

「新生児科」では、どんな治療をしているのですか？

胎内にいる赤ちゃんは、暗くて静かな環境で、羊水にぶかぶかと浮かび安らいでいます。妊娠6～8ヶ月で生まれる早産児は、胎外で生活する準備ができていないために、呼吸や栄養の補助、子宮の代わりになる環境整備が必要です。胎外生活にうまく適応できるように、あらゆる方面から赤ちゃんの状態を評価して対応しています。

外科的疾患を持つ場合は、該当診療科や麻酔科とディスカッションしながら、ベストタイミングでの手術と術後管理をしています。本来なら喜びで始まる母子の絆ですが、赤ちゃんの予期せぬ入院によって、ご家族は大きな心痛を抱えられます。ご家族と赤ちゃんを育むために、お母様の精神的サポートを含め、誠心誠意とめております。

新生児科のモットーを教えてください。

私たちは、広島の周産期医療を担う最後の砦、という自覚をもって日々治療にあたっています。赤ちゃんとご家族に優しいNICUを目指して日々頑張りたいと思っております。

熱いハートと確かな技術で、生まれたばかりの赤ちゃんを守る「県立広島病院 新生児科」。

これからも、福原先生を中心に、チームワークとフットワークで受診される方に信頼と安心を提供していきます。



後列左から、古川、羽田、木原、藤原、勝部
前列左から、今田、福原、浦山

「新生児科」のスタッフを紹介してください。

神戸大学から派遣された後、当院で新生児医療を継続したいと残ってくれた藤原先生は、無口ですが、内に秘める情熱でお母さん方から信頼を得ています。京都府立医大で新生児医療を担ってきた羽田先生は、

次回は、小児感覚器科に直撃インタビューします。

熱いハートと
確かな技術で
赤ちゃんを
守ります

新生児科

女性医師、女性技師による乳腺精密検査外来のご案内

当院では、「乳腺精密検査外来」を、毎日、実施しています。

特に、月、水曜日は女性医師(野間医師)が担当しており、高い診断技術もさることながら、女性にとって同性であることから非常に好評です。

そのため、月、水曜日は、さらにマンモグラフィを撮影する放射線技師、超音波検査を行う技師も女性とし、医師、技師すべて女性による乳腺精密検査外来とすることにいたしました。

「精密検査に行きたいけど、男性に見られるのははずかしい」、「しこりがあるけど、女性医師に診てもらいたい」と言われる方や、思春期の中学生、高校生にとって、安心して受診していただけます。



担当医師

野間 翠 医師

マンモグラフィ読影認定医 (AS判定)

乳超音波診断認定医 (A判定)



予約方法

検査を円滑に進めるため、ご予約された方を優先的に検査いたします。初診の方でも電話予約を受け付けますので、下記の番号にご連絡ください。当日受診も可能ですが、予約の方を優先しますので多少お待ちいただくことがあります。

女性医師・技師による検査をご希望の方も予約方法は同じです。

地域医療連携室 (午前9時～午後5時15分)

電話: 082-252-6241、ファクシミリ: 082-252-6240

女性医師、技師による乳腺精密検査外来日

毎週月、水曜日 (乳腺外来は毎日行っています。) 受付時間: 午前9時～午前11時

..... 入院患者様対象の新サービス!

焼きたてパン・ホットコーヒー 7月15日開始予定

入院患者様を対象に、その日の朝に当院で焼きあげたパンと挽きたての豆で入れた香り高いコーヒーの提供を始めます。ぜひ、ご賞味ください。(別途料金が必要となります。)

【費用】

●焼きたてパン 1皿90円 (朝食の主食の代わりとなります。)

●ホットコーヒー 1杯70円 (朝食・昼食・夕食に追加で注文できます。)

※並食・産科食・もみじ食・あじわい食を食べておられる入院患者様が対象です。

※焼きたてパンの料金は現在朝食にお出ししている主食の料金との差額です。料金は退院時または月末の入院費清算時にまとめて請求させていただきます。

※コーヒーのミルクと砂糖は患者様でご準備ください。

